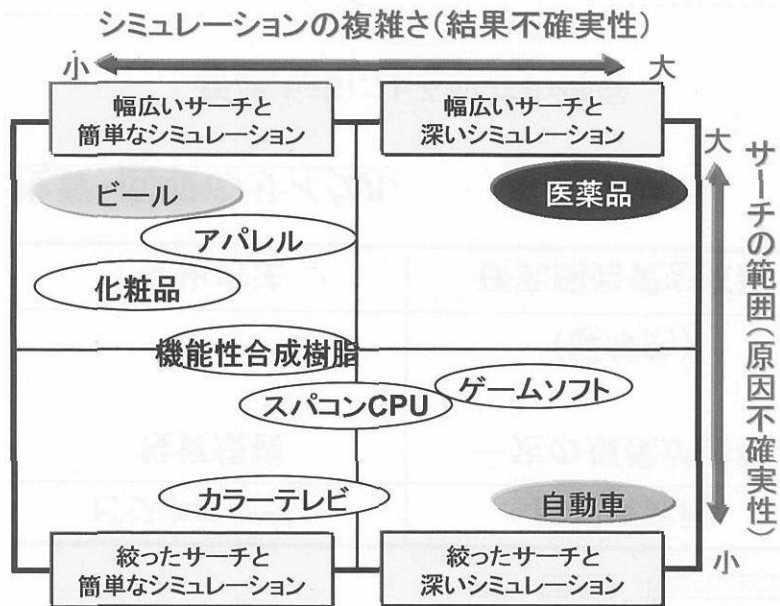


医薬品研究開発の特徴(他産業との比較)

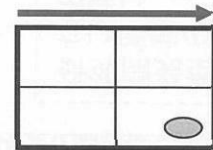
医薬品研究開発においては、幅広い探索研究の必要性和リスクの高い臨床研究が特徴であるが、他産業と比較しても、その特殊性は際立っており、長い研究期間と多額の研究開発費用が必要。

原因不確実性と結果不確実性 による産業の位置付け



自動車

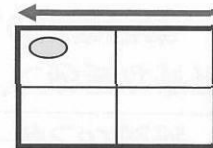
②複雑な構造、機能を持つため、想定どおりの機能発揮するか否かの予測が困難
(結果不確実性は大)



①基本的な技術構成が成熟しており、探索すべきコア技術の選択肢は絞り込まれている
(原因不確実性は小)

ビール

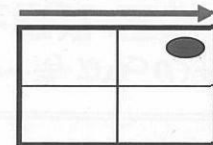
②特定化した製品設計の機能をチェックすることの手間は小さい
(結果不確実性は小)



①その嗜好性ゆえに、「当たる製品」を見つけるのが難しく、幅広い探索研究が必須
(原因不確実性は大)

医薬品

②生命現象に関連するため、製品の構造-機能関係が複雑であり、機能確認のための臨床研究等検証段階が極めて複雑
(結果不確実性は大)



①所要の薬効をもたらす物質を一から探す必要があり、初期において極めて幅広い探索研究が必須
(原因不確実性は大)

- ①原因不確実性:狙った機能をもたらす製品設計をみつける困難性
- ②結果不確実性:確定した製品設計がもたらす結果の予測困難性